

## 事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 2年3月31日

2次評価日（課長等） 2年3月31日

1 事業名	指定文化財管理事業			コード	6212	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課(美術考古館)	作成者	戸谷田 剛秀
3 事業概要	目的体系	基本目標	未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち			
		政策	スポーツ・文化の振興	施策	分化・芸術の振興	
		予算科目	指定文化財管理事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		根拠法令	文化財保護法、岡谷市文化財保護法、岡谷市指定文化財保護事業補助金交付要			

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 (簡潔に)	岡谷市指定文化財史跡等の保存・管理を行う。	
目的	対象者	市が管理する文化財、史跡等
	意図	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
1 国指定史跡整備	梨久保遺跡の植栽剪定、草刈り、アメシロ駆除を行い、ごみの回収やトイレ掃除を行った。	
2 市指定文化財史跡等	広畑遺跡の草刈りを行った。 小口加茂神社アオナシ枝切除工事及び神の木鉄骨補強柱等工事に対して、補助金を交付した。 広畑遺跡の一部を、地元区民農園の桑畑として使用を許可した。	
3	9月28日（土）岡谷 縄文シンポジウム「ものづくりのDNA」を語るを開催した。	
前年度の課題への対応	梨久保遺跡及び広畑遺跡の活用方法について、引き続き検討をしていく。	

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）			[単位：円]
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	2,401,353	127,774	490,002	651,000
経常経費	93,353	74,774	258,131	105,000
臨時的経費	2,308,000	53,000	231,871	546,000
* 臨時的経費の説明	報償費・旅費・食料費・印刷製本費・保険料・広告料・通信運搬費・指定文化財保護補助金			
② 人件費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50
③ 合計コスト(①+②)	6,401,353	4,127,774	4,490,002	4,651,000
前年度比		64.5%	108.8%	103.6%
財源	6,397,403	4,121,424	4,485,452	4,647,050
一般財源				
内訳	3,950	6,350	4,550	3,950
* 特定財源の説明	行政財産管理収入、親子縄文世界探検ツアー実費徴収			
④ コストに関する補足説明				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
岡谷市指定文化財保護事業補助金	件数	1	1	2	1
	金額	2,308,000	53,000	168,000	493,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	2,308,000	53,000	168,000	493,000
	割合	96.11%	41.48%	34.29%	75.73%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 市指定文化財の所有者・管理者からの文化財の保全修理等については、随時相談がある。
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 市指定文化財の所有者・管理者と今後保存・修理について協議し、市補助金交付の対象となる事業については、補助金の交付を行っていく。
改善方法	
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	---	---